

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	障がい者スポーツ振興事業(地域生活支援事業)			事業コード	0392
担当課等	所属名	保健福祉部 障がい福祉課	担当係名		
	課長名	保健福祉部 障がい福祉課長 佐々木幸司	担当者名	加藤 俊輔	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード	1	施策	共に歩む障がい者福祉の実現	コード	3
	基本事業	理解と交流の促進	コード	1	関連予算費目名	一般会計 3款 1項 2目 地域生活支援事業(004-03)		
	特記事項							
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 平成13年度~)							
事務事業の概要	<p>年1回、ふれあいランド岩手等で身体・知的・精神の三障がいの障がい者に、ふれあいマラソン、フライングディスク、アーチェリーなどのスポーツの場を提供する。運営は障がい者団体等を構成団体とする実行委員会が行い、市は構成団体として負担金を支出し事務局の中心を担う。</p> <p>また、障がい者スポーツ振興支援事業については、平成8年11月15日障企第221号「市町村障害者社会参加促進事業の実施について」に基づき開始され、障害者自立支援法地域生活支援事業実施要綱に基づき毎年実施されている。</p>							
根拠法令等	障害者自立支援法							
<p>この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)</p> <p>昭和42年に身体障害者スポーツ振興を目的として「第1回盛岡市身体障害者スポーツ大会」を開催した。また、平成13年度より身体障がい者、知的障がい者別々に実施していたが、全国大会が統合されたことから本大会も身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者の三者合同で実施されることとなった。</p> <p>また、障がい者スポーツ振興支援事業については、平成8年11月15日障企第221号「市町村障害者社会参加促進事業の実施について」に基づき開始され、障害者自立支援法地域生活支援事業実施要綱に基づき毎年実施されている。</p>								
<p>この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか</p> <p>年齢を問わず誰でも参加しやすい競技種目を増加してほしいと要望がある。また、競技性が低く誰もが参加できるニュースポーツなどの導入を要望する声もある。</p> <p>また、障がい者スポーツ振興支援事業については、各個人ごとに異なる障害を持っていても楽しんで取り組めるスポーツを体験しながら、交流の場として参加していきたいとの声が寄せられている。</p>								
<p>事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか</p> <p>障害者自立支援法に表されているように、障がい者の自立及び社会参加を目的とした支援が必要となってきており、スポーツもその一分野として重要性が高まっている。</p>								

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	<input type="radio"/> 市内に在住する障害者 <input type="radio"/> 上記以外の市民 <input type="radio"/> 市内に住む身体障がい者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市内に在住する障害者数 B. 障害者以外の市民数 C. 市内に住む身体障がい者	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 実行委員会で運営の決定を行い、構成団体で各業務を分担して実施した。諸団体の調整、物品の調達等は、障がい福祉課が主に担った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 市スポーツ大会として、参加者の拡充を図る方向で実施する予定。 また、障がい者スポーツ振興支援事業についても各種スポーツ教室を開催する予定。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 実行委員会開催回数 B. 各教室の開催回数 C. 各教室の参加者数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	健康を増進し、積極的な社会参加の意識を醸成するために、障がい者がスポーツをする習慣を身に付ける。 障がい者と交流し、支援しようとする市民を増やす。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. スポーツ大会参加者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 B. ボランティア等協力者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 C. 参加者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	人
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	理解と交流が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「障がい者に対する市民の理解が進んだ」と答えた市民の割合(単位:%) 障がい者アンケート調査「障がい者に対する市民の理解が進んだ」と答えた割合(単位:%)	単位	%

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市内に在住する障害者数	人	15,242	15960	15960	13334	13334	13334	年度
対象 指標B	障害者以外の市民数	人	282,350	280874	280767	284814	284814	284814	年度
対象 指標C	市内に住む身体障がい者	人	-	10060	10060	10170	10170	10170	年度
活動 指標A	実行委員会開催回数	回	1	3	3	2	2	2	年度
活動 指標B	各教室の開催回数	回	-	3	3	6	6	6	年度
活動 指標C	各教室の参加者数	人	-	71	150	264	264	264	年度
成果 指標A	スポーツ大会参加者数	人	230	195	250	197	197	197	年度
成果 指標B	ボランティア等協力者数	人	154	163	180	84	84	84	年度
成果 指標C	参加者数	人	-	71	150	264	264	264	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	500	574	574	574	574	287	*****
財源 内訳	④国	千円	250	287	287	287	287	287	*****
	⑤県	千円	125	143	143	143	143	143	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	125	144	144	144	144	-143	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	500	574	574	574	574	287	*****
	延べ業務時間数	時間	530	565	565	600	600	600	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,120	2,260	2,260	2,400	2,400	2,400	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,620	2,834	2,834	2,974	2,974	2,687	*****

3. 事務事業の評価(See)


必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 当大会は障がい者と障がい者以外の市民との貴重な交流の場となっている。また、障がい者の健康増進のほか、社会参加の促進に繋がるため。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 各障がい者団体との共同開催で行っているが、障がい者団体は財政力が弱く、市の負担がなければ大会の実施は不可能である。また、新しい分野のスポーツを紹介し各個人にあったスポーツに取り組んでもらうきっかけ作りとともに、交流の場を提供することも目的としているため、公共の関与が必要である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由: スポーツ大会については、前年と比較して参加種目を増やしたが、障がい児及び高齢の障がい者の方が参加できる種目がないことから検討の余地がある。また各スポーツ教室については、広く障がい者を対象とする趣旨での設定であることから妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 障がい者と障がい者以外の市民との貴重な交流の場とすることを主な目的としており、また、スポーツを楽しむためのきっかけづくりともなっていることから妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: ボランティアの協力が必要不可欠で、ボランティアがより多く参加することにより向上が図られる。また、いずれの事業においても広く参加をしてもらうことにより向上が図られる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 障がい者はスポーツをする機会に恵まれていない方が多く、また、スポーツを通して交流する場として事業を実施しているので、廃止・休止とした場合、その場を無くすることとなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 岩手県障がい者スポーツ大会 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 競技種目が県大会と全く同じではなく市独自のものもあり、また、県の大会は競技性が強いが市の大会は交流を強く打ちだして実施していることから、統廃合等を図ることができない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状の予算でぎりぎりの状態であることから、これ以上の事業費の削減は難しい。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 各団体との協働やボランティアの協力をいっそうすすめ、業務時間を短縮することができれば人件費を削減する余地がある。また各スポーツ教室においては、当事者団体への委託により実施をしているため最低限の管理事務となっていることから、こちらについては削減はできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 当大会は参加を希望した者が参加することができることから、公平・公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	

理由:参加料の負担を求めることは、多くの障がい者の経済状況を考慮すれば、参加者を減少させることになると思われる。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること より多くの障がい者が参加できるよう、参加種目を増やしたり、また、大会運営のあり方の見直しを図る。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) より多くの障がい者がスポーツに親しみ、市民との交流を深められるようにするには、実行委員会での協議を行い協働を強める必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>障がい者がスポーツに取り組む意識を高めるために良い機会となっている。大会については多くの方に参加していただけるよう、レクリエーション的な種目へ移ってきている。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>多くの方に参加いただけるよう種目や開催方法等について、スポーツ大会、スポーツ教室とも関係団体と検討を行いながら進める。</p>												